

# 令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立東伏見小学校

## ●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。	39.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。</li> <li>・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。</li> <li>・家庭学習習慣との相関が見られ、授業の振り返りや見直しをもつようになっている子ほど、成績が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述式の問題の正答率が低く、また、無回答率も他の問題に比べて高くなっている。自分の考えをまとめ、文章や図を使って表現する活動を日常的に取り入れていく。</li> </ul>
	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。	45.9%		
	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる。	59.0%		
	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	54.1%		
算数・数学	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。	59.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。</li> <li>・正方形の意味や性質について理解している。</li> <li>・「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる。</li> <li>・家庭学習習慣との相関が見られ、習慣が充実している子ほど、正答率が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量関係をもとにした計算問題や、図形の性質をもとにした発展的な問題、立式とその計算の説明など、数学的な見方、考え方を生かして思考・表現する力に課題が見られる。個に応じた基礎的・発展的な指導の充実を目指す。</li> </ul>
	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。	23.0%		
	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。	31.1%		
	(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる。	54.1%		